

科 目	英 語
出題意図 全体	<p>高等学校までで学習する英語の語彙、文法、談話構成に関する知識を運用して、テキストを理解する能力を測定することを目的としています。主要なメッセージ、正確な情報を理解する能力、語彙・文法知識を運用する能力、理解したことをもとに類推する能力を問う構成となっています。</p>
出題意図 1	<p>1,000語前後で10段落程度からなる完結した英語の文章を読む問題です。問1は、各段落の主題や重要な情報を理解できたかを問う問題です。問2は、文章で示されたさまざまな見方や情報のまとめを表で示し、メッセージの流れや論理構成を含めて、その理解を問う問題です。問3は、文章中の細部にわたる情報の理解を問う問題です。全体を通して、①主要情報の理解、②細部の理解、③論理構成の理解に関する読解力を問う構成となっています。</p>
出題意図 2	<p>定評のある語彙使用頻度リストを参考にして、使用頻度の高い語彙の中から、基本的な語からやや難易度の高い語まで段階的に抽出して問題を作成しています。基本的な語彙知識を問うことがねらいです。与えられたダイアログの中でふさわしい単語を選ぶという形式にしています。コミュニケーションの中で単語の知識を活かすことができるかを問います。どの単語もふさわしい文脈の中で選ばれ使われるからです。</p>
出題意図 3	<p>英語における基本的な文法知識を問う問題です。会話の形式で空所が示され、会話の状況からふさわしい表現を選びます。この問題では、高等学校までに学習する文法の運用知識を問うことをねらいとしています。</p>
出題意図 4	<p>話し言葉のコミュニケーション能力を測る問題です。会話の展開を示す表現に着目しながら、会話の状況や話者の意図を理解し、一貫した内容を把握する論理的思考能力を問います。</p>

科 目	英 語
出題意図 5	空所補充を通じて短いエッセイを完成させる問題です。英文をパラグラフの観点から理解できるかを問うとともに、受験者の論理的な読解力、文脈把握力、英文構成力を総合的に測定します。具体的には冒頭文と結論文を手がかりに、その焦点を正しく捉え、文同士の関係を理解し、適切な論理展開を選択する力が必要になります。
出題意図 6	さまざまなジャンルの短めの文章について、特定の情報を読み取る、読み取った内容に基づいて情報を整理する能力を問う問題です。文章の内容について、限られた時間であっても正確に理解する読解力を問います。

科 目	国 語
出題意図 一	<p>大問一：長めの文章ではありますが、大きく分けて前半では陰謀論とはどのようなものであるのかについての議論、後半では陰謀論とどう向き合うべきかについての議論という、わかりやすい展開になっています。この大問では、こうした議論の中で筆者がどのような主張を展開しているのかについての理解を問うものを多く出題しました。また、漢字問題や、言葉の知識を問う設問もいくつか用意しました。なお、常用外の漢字の読みを解答する設問も含まれていますが、一般常識として知っておいてほしいという意図によるものです。</p>
出題意図 二	<p>文章は短かめですが、やや難解なため、筆者の言いたいことを理解するには丁寧に読むことが必要になります。筆者は、デザイン活動とは何か、それにどのような姿勢で取り組むかという問いに対し、パパネックのデザイン論とレヴィ＝ストロースの思考の二様式を手掛りにして切り込んでいきます。この大問では、その論述の構造と筆者、パパネック、レヴィ＝ストロースの主張とを理解しているか、また、論者の主張に即して判断することができるかを問いました。</p>

科 目	数学（経済学部・経営学部・法学部・人文学部）
出題意図 全体	思考の過程を明確にわかりやすく、かつ論理的に記述する力を重要視しているため、すべての問題の解答に記述形式を採用しています。
出題意図 1	数学Ⅰで学習する基礎的な知識の習熟度を問います。
出題意図 2	数学Aで学習する場合の数の基礎的な知識の習熟度を問います。
出題意図 3	数学Aで学習する条件付き確率の基礎的な知識の習熟度・活用のための思考過程を問います。
出題意図 4	数学Ⅱで学習する微分法、積分法の基礎的な知識の習熟度・活用のための思考過程を問います。
出題意図 5	数学Ⅲで学習する積分法、数列の極限に関する基礎的な知識の習熟度・活用のための思考過程を問います。

出題意図 6	数学 B で学習する数列に関する基礎的な知識の習熟度・活用のための思考過程を問います。
出題意図 7	数学 C で学習する空間ベクトルに関する基礎的な知識の習熟度・活用のための思考過程を問います。

科 目	工学部数学
出題意図 全体	思考の過程を明確にわかりやすく、かつ論理的に記述する力を重要視しているため、すべての問題の解答に記述形式を採用しています。
出題意図 1	数学Ⅰで学習する基礎的な知識の習熟度を問います。
出題意図 2	数学Ⅱで学習する基礎的な知識の習熟度を問います。
出題意図 3	数学Ⅲで学習する積分法、数列の極限に関する基礎的な知識の習熟度・活用のための思考過程を問います。
出題意図 4	数学Aで学習する条件付き確率の基礎的な知識の習熟度・活用のための思考過程を問います。
出題意図 5	数学Bで学習する数列に関する基礎的な知識の習熟度・活用のための思考過程を問います。

出題意図 6	数学 C で学習する空間ベクトルに関する基礎的な知識の習熟度・活用のための思考過程を問います。
-----------	---

科 目	政治・経済
出題意図 1	民主政治の基本原則とその展開に関する問題です。教科書で頻出の基本的事項について、正確な知識を問うべく、とくに重要な人名や用語などを答える問題を多く出題しています。
出題意図 2	日本国憲法における基本的人権に関する出題です。基本的概念の整理を確認するとともに、時事的な知識も問うており、現代社会の具体的問題との関連で知識を総合的に把握することを求めています。
出題意図 3	わが国の雇用や社会保障・暮らしに関する出題です。設問の多くは、高等学校の教科書に記載されている基本的な内容と時事問題を問うものです。正確な知識を問うべく、用語を答えさせたり回答を選択させたりする問題を数多く出題しました。教科書の内容の把握はもちろんですが、時事的内容にも関心をもって欲しいと思います。

科 目	地 理
出題意図 1	<p>図法に関する理解を問う問題です。地球の大きさや緯度・経度の仕組みや各国の位置関係を地図帳や教科書の記述を理解しておく必要があります。</p>
出題意図 2	<p>国土地理院が発行している各種地図についての基本的理解と地形図の読図を問う問題です。地図記号や等高線などからその地域の地理的特徴を読む練習が必要です。</p>
出題意図 3	<p>領土と主権に関する設問である。領土、領域、領海についての理解ができているか、また領土問題がどのような歴史的経緯のなかで生じてきたのかを、教科書や用語集を通じて理解しておいてほしい。また、北方領土についても位置関係、漢字とともに覚えておいてもらいたい。</p>
出題意図 4	<p>南アメリカの地形、農業、鉱産資源に関する基礎知識についての理解を問うている。教科書に準拠している。また、主要国の農畜産物について、生産量を基に読み取れるかも問うている。</p>

科 目	日本史
出題意図 1	(歴史総合の範囲からの出題) 米騒動が起きた背景とその後の政治動向について問うた設問です。
出題意図 2	考古学の内容も交えて縄文文化を問う問題としております。
出題意図 3	百人一首をテーマにした文化史の設問で、 飛鳥時代から鎌倉時代を中心に幅広い内容を問うものとなりました。
出題意図 4	太平洋戦争開戦前の日本の情勢について問いました。

科 目	世界史
出題意図 全体	高校教科書の内容を確実にマスターし、世界各地域の大きな歴史の流れを理解しているか否かを問うものである。
出題意図 1	19世紀後半から20世紀初頭までの欧米列強の帝国主義政策の動向について、イギリス、フランス、イタリア各国のアフリカ大陸進出を問う問題である。各国の動向を正確に把握しているか否かが解答の鍵になる。問題の後半は、19世紀末以降、列強の中国進出が激しくなることを踏まえて、新興国米国の動き、さらには侵略を受ける側の清朝の混乱について問うている。
出題意図 2	ヘレニズム時代を中心にして、ギリシアの生活と文化やその後のローマとのつながりを問うている。この時代を理解するためにはアレクサンドロス大王の政治的影響力の強さだけでなく、近代ヨーロッパの文化的基礎を築いた哲学・自然科学の側面もバランスよく学ぶことが大事である。
出題意図 3	漫画・アニメ作品『キングダム』は春秋戦国時代末期を舞台として好評を博している。これを契機として、『キングダム』後の秦の統一から滅亡、前漢の建国を題材に選定し、とくに各国の首都の位置、統治機構の変遷に関する基礎的知識を測った。
出題意図 4	近世ヨーロッパ世界の動向の中でも、ルネサンス運動を主軸に置いた設問である。ルネサンスの精神的広がりや文芸・自然科学・美術にまで及んでいることはいうまでもなく、そのルネサンスが成立する上での歴史的・経済的背景も視野に入れて学んでいるかを測るために作られた問いとなっている。
出題意図 5	極地・東南アジア・オセアニアを舞台とした西欧列強の世界進出についての問題である。先住民の迫害や資源の獲得だけでなく、西欧はこれらの地域から文化的な影響も受けたことについても、理解を問うている。

科 目	物 理
出題意図 1	本問は、質点の力学と電磁気学を組み合わせた複合問題です。等加速度直線運動や等速円運動の記述に加え、運動量・力学的エネルギーの各保存則、仕事と力積、さらには電磁場から荷電粒子が受ける力など、物理学の基本事項を理解し、正しく適用できるかを確認することを意図しています。
出題意図 2	直流回路における基本的な法則や概念の理解度を確認している。起電力、内部抵抗、電流、電圧、電力の関係を具体的な回路図を通じて理解度を確認するとともに、コンデンサの基本的な動作を理解しているかどうかを確認している。

科 目	理科（物理基礎・物理）
<p>出題意図 1</p>	<p>問 1 - I 張力の成分分解と力のつり合いで静止条件を立式できるかを確認し、続いて糸を切った後の振り子運動を題材に、位置エネルギー基準の設定と力学的エネルギー保存則を一貫して適用できる総合力を測る。</p> <p>問 1 - II 抵抗の直列・並列の合成抵抗を式で扱えるかを基礎として、電圧 - 電流グラフの読み取りから合成抵抗を決め、条件を用いて個々の抵抗値を一意に決定できるデータ読解力・計算力を評価する。</p> <p>問 1 - III 与えた熱量と温度変化のグラフから熱容量を求める基本を確認し、さらに水と金属球の熱平衡を通して、熱量保存を立式して最終温度を導けるかという、グラフ読解と熱収支の統合的理解を測る。</p>
<p>出題意図 2</p>	<p>この問題の前半部分は、等速円運動の基本事項を確認することを意図した問題となっている。また、後半部分は、重力も働く状況での単振動の理解について問う問題となっている。</p>

科 目	理科（生物基礎・生物）
出題意図 (生物基礎) 5 1	この問題は、生物の多様性を学ぶうえで重要な、陸上の植生がつくるバイオームと気候との関係を理解しているかを確認する基本問題です。
出題意図 (生物基礎) 5 2	この問題では、細胞の基本構造を理解しているかを確認しました。真核細胞と原核細胞の共通点・違い、そして代表的な原核生物についての基礎知識が問われています。(3)は細胞周期の中で、染色体がどのように変化するかを理解しているかを見る問題でしたが、正答率は低めでした。
出題意図 (生物基礎) 5 3	DNAとRNAの構造について、共通点と違いを理解しているかを確認する基本問題です。内容は基礎的で、多くの受験生が正しく答えていました。
出題意図 (生物基礎) 5 4	この問題は、生物における物質の代謝とエネルギーの流れという基本概念を理解しているかを確認するためのものです。
出題意図 (生物基礎) 5 5	この問題では、恒常性の具体例として、体温や血糖量がどのように調節されているかについて理解しているかを確認しました。正誤問題であったため、体温調節や血糖値の基本的な役割を押さえていれば答えやすく、正答率も高めでした。
出題意図 (生物基礎) 5 6	この問題では、生物の共通性にもとづいて作られた系統樹を読み取り、生物の進化のしくみや特徴を大まかに理解できているかを確認しました。また、さまざまな生物がどの系統に属するかを把握しているかも問いました。

<p>出題意図 全体 (生物)</p>	<p>進化について、DNAという分子から、生物種という大きいスケールまで理解しているかを問う出題となっています。知識だけでなく、どのような要因で変化が起こるかを理解しているかを問う構成となっています。</p>
<p>出題意図 (生物) 6 1</p>	<p>染色体や進化に関する用語を問う問題です。選択問題により、同じ範囲の用語と混同していないかを測りました。</p>
<p>出題意図 (生物) 6 2</p>	<p>常染色体とはなにか、を問う問題です。染色体には性染色体と常染色体の二つにわけられることを理解しているかを測りました。</p>
<p>出題意図 (生物) 6 3</p>	<p>DNAの配列の変化のうち、挿入と欠失でおこりうるフレームシフト変異について理解しているかを問う問題です。DNAの変化がどのようにタンパク質の変化に反映されるかの理解を測りました。</p>
<p>出題意図 (生物) 6 4 (1)</p>	<p>ハーディー・ワインベルグの法則が成り立つ条件が何かを問う問題です。理解度を測るため、法則について暗記していなくても、集団の遺伝子頻度が変わらないためには、どういう条件が必要であるかを考えると正解が導き出せるように選択問題として出題しました。</p>
<p>出題意図 (生物) 6 4 (2) (3)</p>	<p>遺伝子頻度を理解を問う問題です。(3)では特定の形質をもつ集団が取り除かれた場合の遺伝子頻度の変化を計算させることで、正確に理解しているかを測りました。</p>
<p>出題意図 (生物) 6 5 (1) (2) (3)</p>	<p>分子進化についての理解を問う問題です。DNAの塩基配列の変化は常に起こっているが、必ずしも形質が変化するわけではない。また、その変化から二種がいつ分岐したかを見積もることができる分子時計についても理解しているかを測りました。</p>

科 目	理科（化学基礎・化学）
出題意図 全体	化学の出題は、受験生が化学基礎と化学の教科書レベルの基本的な内容を理解し、化学的な考え方の基本を身につけているかを調べることに主眼がおかれています。問題は2問からなっており、3は化学基礎、4は化学からの出題です。教科書の例題や章末問題レベルの問題で構成されているので、教科書の基礎的な理解ができていれば容易に解けるはずです。
出題意図 3 1(1)	酸化と還元を理解し、酸化数を正しく導出できるかを問う
出題意図 3 1(2)	物質の構成粒子を理解し、電子と中性子の数からイオンを正しく導出できるかを問う。
出題意図 3 1(3)	中和反応と塩を理解し、塩の分類における正塩を正しく導出できるかを問う。
出題意図 3 2(1)(2)(3)(4)	物質の構成粒子を理解し、イオンが持つ電子の総数を正しく導出できるかを問う。
出題意図 3 3(1)(2)(3)(4)	化学反応式を理解し、与えられた反応を正しく化学反応式で記述できるかを問う。

<p>出題意図 3 4(1)(2)(3)(4)(5)</p>	<p>物質質量、気体の体積、溶液の濃度、酸と塩基、酸化還元反応について理解し、化学基礎における基本的な計算力を問う。</p>
<p>出題意図 4 1(1)(2)(3)(4)(5)</p>	<p>無機物質の分野からの出題で、非金属元素を理解し、与えられた物質の性質から物質を正しく導出できるかを問う。</p>
<p>出題意図 4 2(1)(2)(3)</p>	<p>気体の分野からの出題で、気体の状態方程式や混合気体の圧力について理解し、混合気体の圧力やモル分率などの基本的な計算力を問う。</p>
<p>出題意図 4 3(1)(2)(3)</p>	<p>無機物質の分野からの出題で、無機物質の反応を理解し、与えられた反応を正しく化学反応式で記述できるかを問う。</p>
<p>出題意図 4 4(1)(2)(3)(4)</p>	<p>有機化合物の分野からの出題で、有機化合物の構造を理解し、有機化合物の名称を正しく記述できるかを問う。</p>